昭和56年度定時総会報告

関西自然保護機構事務局

5月17日(日曜日)大阪市立自然史博物館集会室にて，昭和56年度関西自然保護機構定時総会が開催されました。午後3時10分に開会され，出席定足数（委任状を含めて63名）充当に付き，会議は成立し下記順序にて議案は慎重審議，とどこおりなく3時40分に終了しました。

1．司会者より総会成立の後，議長に山下善平氏 議事録署名人に千地万造氏，布谷知夫氏を指名，議事に入る。

議案事項

第1号議案　昭和55年度事業報告及び決算の件

第2号議案　昭和56年度事業計画及び予算の件

2．理事長朝日稔氏より議案説明，質疑応答の後，上記は万場一致で承認され総会を終了した。

昭和55年度事業報告

1．基礎研究の実施

1）社寺林の分布・実態及び保全に関する研究

研究テーマ　評価基準の作成に関する基礎研究

代表者　菅沼　孝之　研究金額　15万円

2）稀少植物･動物及び群集の調査と保護に関する研究

研究テーマ　イワメの生態調査

代表者　名越　誠　研究金額　15万円

3）近畿地方における自然破壊の進行とその指標生物に関する研究

研究テーマ　兵庫県の河口付近の植物調査

代表者　福岡　誠行　研究金額　15万円

2．会議の開催

1）総会の開催　　昭和55年5月18日

2）理事会の開催　昭和55年5月2日

3．自然保護及び自然環境保全に関するシンポジウムの開催

1）シンポジウム　5月18日開催

社寺林の分布と実態及び保全

2）シンポジウム　11月30日開催

松枯れシンポジウム

4．自然保護及び自然環境保全に関する調査研究に対する指導及び助成

研究テーマ　ヨシ帯の生物群集学的意義と保全に関する研究

代表者　須川　恒　助成金額　27万円

研究テーマ　ヒバリの棲息状況からみた府下自然破壊度調査

代表者　酒井　健　助成金額　13万円

5．国内外の諸団体との連絡協力

1）連絡紙の発行

会報　No.5 昭和55年6月

No.6 昭和56年3月

KONCNEWS　No.8 昭和55年6月

No.9 昭和55年9月

会員名簿　昭和55年9月

6．自然保護に関する基礎資料の収集と配布

7．受託研究について

研究委託者　関西環境総合センター

研究課題名　貯水池の水際緑化手法の調査

研究金額　２００万円

委託費用使用精算書

自　昭和55年4月1日

至　昭和56年3月31日

適　　要	金　　額
旅費・交通費	93,000
使用消耗資材費	877,500
謝礼金・人件費	1,029,500
合　　計	2,000,000

昭和55年度収支決算

収入総額　3,880,208円
支出総額　3,650,358円　　自　昭和55年4月1日
差引残高　229,850円　　至　昭和56年3月31日

(収入の部)

款	項　目	55年度予算額	55年度決算額	備考　過不足
会費収入		5,250,000	3,810,000	▲1,440,000
	正会員会費収入	450,000	A 450,000	0
	維持会員会費収入	4,500,000	B 3,300,000	▲1,200,000
	賛助会員会費収入	300,000	C 60,000	▲240,000
寄付金収入		500,000	0	▲500,000
	寄付金収入	500,000	0	▲500,000
諸収入		50,000	70,208	△20,208
	利息その他	50,000	D 70,208	△20,208
	合計	5,800,000	3,880,208	▲1,919,792

A．正会費90名分　B．維持会費33口　C．賛助会費 2口　D．普通利息 70,208円

(支出の部)

款	項	目	55年度予算額	55年度決算額	備考　過不足
法人費			3,000,000	2,241,173	△758,827
	人件費		2,150,000	1,718,320	△431,680
		職員報酬	2,000,000	1,600,000	△400,000
		交通費	150,000	118,320	△31,680
	需要費		800,000	499,983	△300,017
		通信費	250,000	229,360	△20,660
		消耗品費	150,000	26,500	△123,500
		旅費	100,000	9,740	△90,260
		事務所維持費	250,000	214,363	△35,637
		雑費	50,000	20,020	△29,980
	会議費		50,000	22,870	△27,130
		会議費	50,000	22,870	△27,130
事業費			2,800,000	1,409,185	△1,390,815
	調査研究費		1,100,000	450,000	△650,000
		調査研究費	1,100,000	450,000	△650,000
	シンポジウム セミナー開催費		100,000	72,000	△28,000
		シンポジウム開催費	100,000	72,000	△28,000
		セミナー開催費	0	0	0
	助成金		400,000	400,000	0
		調査研究助成金	400,000	400,000	0
	印刷費		1,100,000	487,185	△612,815
		資料印刷費	1,100,000	487,185	△612,815
予備費			100,000	0	△100,000
	合計		5,800,000	3,650,358	△2,149,642

上記決算については会計監査を終了いたしました。

昭和56年度予算案

収入総額　6,000,000円　　自　昭和56年4月1日
支出総額　6,000,000円　　至　昭和57年3月31日

(収入の部)

款	項　目	55年度決算額	56年度予算額	備考　増減
会費収入		3,810,000	5,200,000	△1,390,000
	正会員会費収入	450,000	600,000	△150,000
	維持会員会費収入	3,300,000	4,300,000	△1,000,000
	賛助会員会費収入	60,000	300,000	△260,000
寄付金収入		0	300,000	△300,000
	寄付金収入	0	300,000	△300,000
諸収入		70,208	500,000	△429,792
	利息その他	70,208	500,000	△429,792
	合　計	3,880,208	6,000,000	△2,119,792

(支出の部)

款	項	目	55年度決算額	56年度予算額	備考　増減
法人費			2,241,173	3,200,000	▲958,827
	人件費		1,718,320	2,150,000	▲431,680
		職員報酬	1,600,000	2,000,000	▲400,000
		交通費	118,320	150,000	▲31,680
	需要費		499,983	1,000,000	▲500,017
		通信費	229,360	350,000	▲120,640
		消耗品費	26,500	150,000	▲123,500
		旅費	9,740	50,000	▲40,260
		事務所維持費	214,363	250,000	▲35,637
		雑費	20,020	200,000	▲179,980
	会議費		22,870	50,000	▲27,130
		会議費	22,870	50,000	▲27,130
事業費			1,409,185	2,800,000	▲1,390,815
	調査研究費		450,000	1,100,000	▲650,000
		調査研究費	450,000	1,100,000	▲650,000
	シンポジウム セミナー開催費		72,000	150,000	▲78,000
		シンポジウム開催費	72,000	100,000	▲28,000
		セミナー開催費	0	50,000	▲50,000
	助成金		400,000	400,000	0
		調査研究助成金	400,000	400,000	0
	印刷費		487,185	1,100,000	▲612,815
		資料印刷費	487,185	1,100,000	▲612,815
予備費			0	50,000	▲50,000
	合　計		3,650,358	6,000,000	▲2,349,642

財産目録の推移

当初資産総額 (昭和55年4月1日現在)	8,350,757	期末資産総額 (昭和56年3月31日現在)	8,580,607
1．基本財産		1．基本財産	
定期預金	6,000,000	定期預金	8,000,000
2．運用財産	2,350,757	2．運用財産	580,607
普通預金及び現金	2,145,757	普通預金及び現金	375,607
保証金	205,000	保証金	205,000

※当期決算残高229,850円は運用財産に充当。

※運用財産の内200万円を基本財産へくり入れました。

昭和56年度事業計画

1．基礎研究の実施
　1）稀少生物及び群集の調査と保護に関する研究
　2）近畿地方における自然破壊の進行と実態に関する研究
　3）環境指標生物に関する研究
2．自然保護及び自然環境保全に関するシンポジウムの開催
　1）シンポジウム　5月17日開催
　　環境指標生物
　2）シンポジウム　11月開催予定
3．自然保護及び自然環境保全に関する調査研究に対する指導及び助成
　1）近畿地方における自然破壊の進行と実態に関する研究
　2）環境指標生物に関する研究
4．国内外の諸団体との連絡協力
　1）連絡紙の発行
　　会報No.7　　昭和56年6月予定
　　会報No.8　　昭和56年10月予定
　　KONKNEWS　随時発行
　2）他の自然保護団体との交流
5．自然保護に関する基礎資料の収集と配布
6．自然保護及び自然環境保全に関する現地見学，セミナー

会　務　報　告

1．シンポジウム報告

5月17日（日曜日）大阪市立自然史博物館においてシンポジウム「環境指標生物」が開催されました。雨天にもかかわらず，先生方に加え学生の方々が多数出席されました。初めに，菅沼　孝之氏のあいさつの後，環境指標生物の考え方について（神戸大学農学部　奥谷　禎一氏）大気汚染に対する指標生物（林業試験場九州支場垰田　宏氏）環境診断をするための指標生物と環境淡水生物研究所（森下　郁子氏）と講演が続き，休憩後ひき続きヒバリの生息状況から見た府下の自然環境（大阪自然環境保全協会　酒井　健氏）川西市のタンポポ分布と環境（兵庫県立伊丹高校　中西　敏昭氏）と講演を終了。総合討論においては環境指標生物本来のとらえ方，人間が住める限界を見るのか，自然環境保全の指標にするのか，また，いろいろな環境指標生物のどのような現像でとらえるか？そしてそれが何を意味するか？目的をどの辺に設定するかによってどのような指標生物が使えるかが決ってくる事etc総合的な点が討論され，シンポジウムを終了しました。

2．図書寄贈について

下記の図書を御寄贈いただき，誠にありがとうございました。

姫路市立水族館の内田　至先生より
インドネシア・マレイシア・シンガポールにおけるタイマイの人工ふ化放流および稚ガメ養成の可能性に関する調査報告書（1980）日本マイタイ協会発行

東洋大学の大野正男先生より
日本産ヒナハルゼミ類に関する文献目録(1889～1975)
日本産主要動物の種別文献目録

渡辺　弘之先生より
八丁平環境調査報告書（1980,1）京都市経済局発行

3．昭和56年度新会員紹介

川本　武司氏（建設工学研究所）
神田　四男氏（中央復建コンサルタンツ株式会社）
森下　郁子氏（淡水生物研究所）
中堀　和英氏（中堀ソイルコーナー）